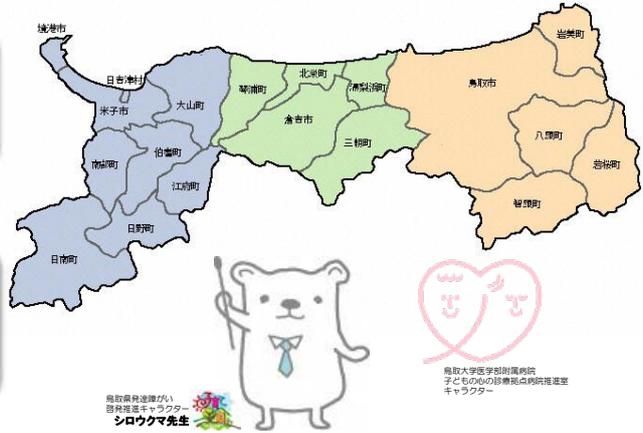


鳥取県の事業概要 ～鳥取大学医学部附属病院～

～子どものための支援者。支援者のための推進室。～

【1】地域概要

- ・自治体担当管轄課：鳥取県 子ども発達支援課
- ・児童数(0～18歳)：92,015人(H30.10現在)
- ・児童精神科系 医師数：4名
- ・児童精神科のある医療機関数：3機関(入院病床・病棟なし)



【2】拠点病院・機関概要

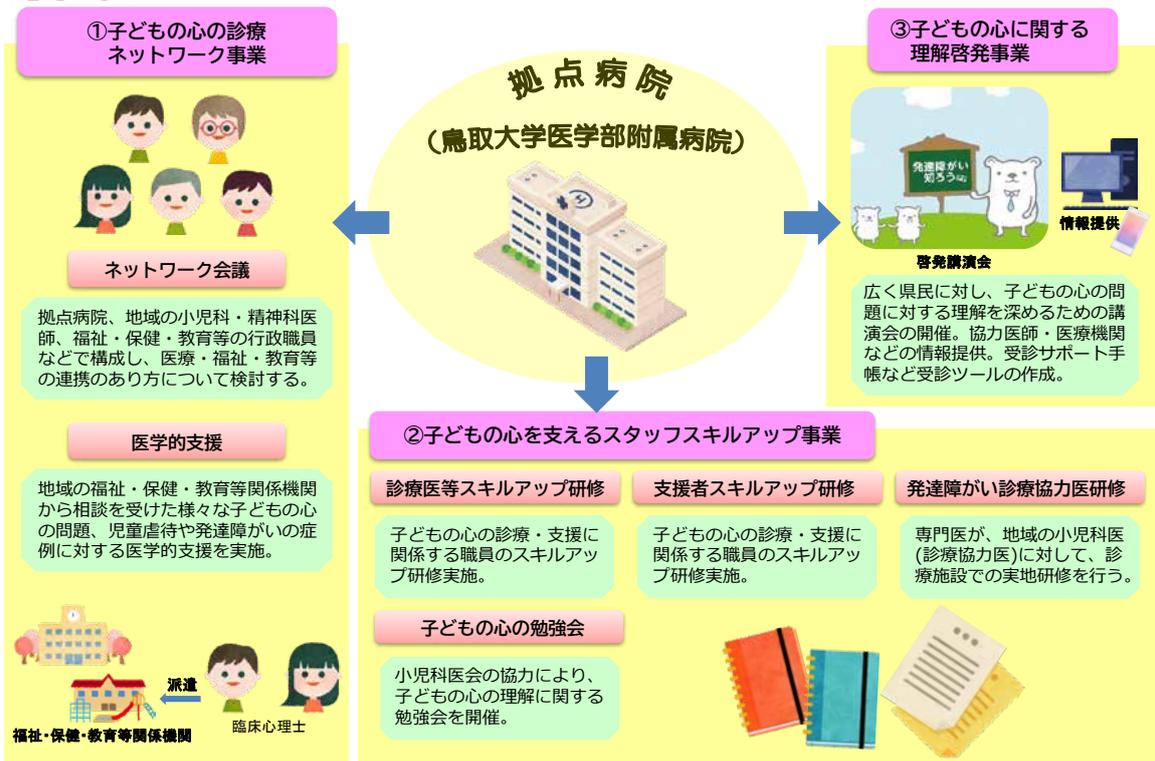
- ・拠点病院機関名：鳥取大学医学部附属病院(697床)
- ・事業実施科名：脳神経小児科
- ・事業開始年：H20年10月～
- ・子どもの心の診療機関マップ実施：有(登録施設数：24機関)
- ・事業協力施設：24機関

【3】事業実施への経緯

- ・鳥取大学医学部附属病院にて発達障がい児の地域医療の連携を検討していたところ、本事業の情報を入手。事業参加について検討し、実施に至った。

鳥取県の事業概要～鳥取大学医学部附属病院～

【4】事業図



【5】実施事業の概要

- ①子どもの心の診療支援[連携]事業
 - ネットワーク会議:ワーキンググループからの課題をもとに、医療と福祉、保健、教育等の各分野との連携の在り方について協議(年1回)
 - 拠点病院を中心として、医療の連携や事業の企画・運営(年1回)
- ②子どもの心の診療関係者研修・育成事業
 - 子どもの心を支える診療医等スキルアップ研修
医学講座(全3講義):医師、福祉・保健・教育関係者等を対象に、子どもの心の問題に関する理解を深める研修会を開催。
 - 子どもの心を支える支援者スキルアップ研修
・研修会(年1回):福祉、保健、教育等子どもの心の問題に関わる支援者に対して専門的な研修を開催し、スキルアップを図る。
・発達支援コーディネータースキルアップ研修(全2回):保健師、保育士を対象に医療との連携、保護者支援等の具体的な支援内容の研修を行い、職員のスキルアップを図る。
 - 発達障がい診療協力医研修:発達障がい診療の専門医が地域の小児科医に診療施設での実地研修を実施し、発達障がいのある児童が身近な地域で小児科医の診療が受けられる支援体制の構築を目指す。
- ③普及啓発・情報提供事業
 - 一般市民、保護者を対象に子どもの心に関する医会啓発講演会を開催(年1回)
 - ホームページの更新→講演会・研修会の案内、事業協力医の情報発信等

【6】特徴や特に力を入れている事業内容

- 大学病院を中心にネットワークを形成し、子どもの心の診療のできる医師や専門家の育成に力を入れている。

【7】事業による効果と思われるもの(H23-27年度からの改善点など)

- 本事業の臨床心理士と特別支援コーディネーター等との連携ができ、保護者相談や教育研修の新しいモデルを提案することができた。
- 県内の学校等の要請に応じ研修会の講師や指導助言を行うことにより、地域の教育機関や保護者との連携が取りやすくなった。
- 発達障がいを診療する診療医が毎年平均3人ずつ増加している。(H28:4人、H29:5人、H30:2人)
- 自治体による家族支援(ペアレントトレーニング)の実施につながった。
- 専門職員の知識と理解をより深めることができた。

【8】目指す方向性について (今後の予定事業や展望、目標など)

- 不登校・ひきこもり児童に対する支援(特にアウトリーチ支援)の強化。
- 地域のかかりつけ医に向けた診療協力医研修の受講促進。
- 医療・行政・教育・福祉が連携して子どもの心のケアができる仕組みを作る。
- 子どもの心の問題に対するアプローチ手段の整備。(ICTの活用など。)